

小諸市公民館基本運営方針

— 生きがいがづくり・地域づくりのお手伝い —
子育ても安心 老いても楽しい

社会の変化や生活様式・価値観の多様化に伴い地域も大きく変わり、環境、福祉、教育、防災、防犯、地域の活性化等々、多くの地域が様々な課題に直面しています。また少子高齢化に起因する諸問題も少なくありません。これらの現状から、身近な学習の拠点、地域づくりの拠点としての公民館の役割がますます注視されてきています。

小諸市では、基本計画の中に「市民が主体的に学べる生涯学習の場を提供し、生きがいがづくりのための学びに対する支援を行う」「住民自らが自らの地域を創っていくというまちづくりを進めるために、市民とともにみんなが暮らしやすい地域づくりを進める」を位置づけています。

小諸市公民館でもこれらを受け、公民館は学習の場であるという観点から、住民自らが「生きがいがづくり」と「地域づくり」につながる学習と実践を進めていくよう支援することが重要な役目であると

考えます。ここなら安心して子育てができる。そして老いてもみんな楽しく生活できる。そんな想いに対してもお手伝いできるような公民館活動でありたいと思います。

そこで、趣味や教養を高める学習をさらに充実させることと、地域課題に関する学習への支援に重点を置き、次の二点を引き続き基本方針とします。

一、共に支え合う地域コミュニティづくりをめざし、生活課題・地域課題に関する学習と実践を支援する。

「地域で子どもは育つ」とよく言われますし、「住みなれた地域で暮らし続けたい」と多くの方が願っています。すでに各地区ではいろいろな支え合い活動が行われていますが、更なる充実をめざし、地域の課題を明確にし地域の多くの方と協働した実践につながるような学習の場を設けていくことが大切だと考えます。また、防災においても、阪

神・淡路大震災や東日本大震災等の教訓から、地域コミュニティの大切さが再認識されましたが、さらに最近「事前復興」という考えが注目されています。事前復興とは、災害が起きてから復興（建物やインフラもですが、街・人の復興も）のまちづくりを進めるのではなく、現在住む地域をどのように良くしていくかを学習・実践していくことにより防災や復興がスムーズに進められるという考えです。平素から地域づくりやコミュニティづくりについての学習を進める公民館はここでも大きな役割を果たします。

二、自ら学ぼうとする市民ニーズに応え、生涯にわたる生きがいがづくりに生かされる学習を支援する。

全国各地では、公民館がカルチャーセンター化しているという反省の声もありますが、住民のニーズに応えるような各種教室・学級・講座を充実させることにより、そこでの学習を通して趣味・教養を高めたり、交流を深め自主サークルに発展させたりするなど生きがいがづくりが進められるよう支援します。

平成二十八年度 公民館報編集委員の紹介

「公民館報」は、昭和二十四年に第一号が発行されてから毎月発行しています。この公民館報を作っているのが「館報編集委員」です。各支館から一名ずつ（中央支館は二名）推薦され、月二回公民館報の原稿校正や次号の検討などを行っています。

また、支館・分館の行事へ取材にお伺いし、記事を書きます。記事にすることで、市民の皆様へ地域情報を提供し地域の文化・伝統を継承や発展につなげられればと思います。

公民館報で地域と人、人と人が「つながる」ことができよう努力してまいりますので、よろしくお願ひします。

私たちが取材にお伺ひします。よろしくお願ひします。



【前列右から】

大 里支館 櫻井 大一
 南大井支館 倉内 さよ
 西小諸支館 金子 美江
 北大井支館 竹節 正勝

【後列右から】

中 央支館 神津眞美子
 川 辺支館 前田 和子
 三 岡支館 塩川ひろみ
 中 央支館 木内 那穂

